

●青少年海洋センター

<p>前回検証結果</p>	<p><b>要改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設改修を踏まえ、施設目的に対する重点課題やコンセプトを明確にし、地域資源を活用した新規顧客確保など、利用者数の拡大を図ること。</li> </ul>																				
<p>対応・改善策 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境の変化や少子化によるメインターゲット層である青少年の減少により、青少年のみを対象とした運営が難しくなっている中、設置目的に沿った利用を妨げない範囲で新たな誘客の拡大を推進。</li> <li>平成29年度の施設改修で野外炊事施設、ボルタリング場及びトレーニング場を新設し日帰り利用できる設備が増加。また、宮津市が併設している体育館に、冷暖房設備及びレスリングマット2面が整備されたことにより、高校レスリング部の合宿等の新たな利用が実現。</li> <li>新たな利用層の確保や学校の利用が少ない閑散期（10月～3月）の利用者増加を図るため、以下の取組等を実施。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→家族単位での利用を促進のするため、「親子」を対象にしたカヌー体験や野外炊事体験のプログラム。</li> <li>→一般区分（大学生）の利用促進のため、大学生協京都事業組合と連携した施設の紹介。</li> <li>→企業の利用促進のため、新入社員研修会場を提案した営業活動（利用予約後、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンセル）。</li> </ul> </li> <li>施設改修後、無料公開日を設けて、地元住民等へ周知。地域と連携して実施した「クリスマス会」・「宮津田井海まちフェスタ」では、年配の方から若者まで多くの地域住民の参画がある等、地域交流拠点の役割及び今後の可能性を確認。</li> </ul>																				
<p>取組の結果</p>	<p>◇平成29年度のリニューアルにより、宿泊者数、利用率及び利用料金収入は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響等により減少。</p> <table border="1" data-bbox="491 1536 1401 1733"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊者数（人）</td> <td>14,025</td> <td>14,968</td> <td>14,692</td> <td>4,014</td> </tr> <tr> <td>宿泊室利用率（%）</td> <td>31.2</td> <td>47.3</td> <td>46.6</td> <td>30.8</td> </tr> <tr> <td>利用料金収入（千円）</td> <td>18,550</td> <td>20,829</td> <td>21,712</td> <td>5,545</td> </tr> </tbody> </table>		H28	H30	R元	R3	宿泊者数（人）	14,025	14,968	14,692	4,014	宿泊室利用率（%）	31.2	47.3	46.6	30.8	利用料金収入（千円）	18,550	20,829	21,712	5,545
	H28	H30	R元	R3																	
宿泊者数（人）	14,025	14,968	14,692	4,014																	
宿泊室利用率（%）	31.2	47.3	46.6	30.8																	
利用料金収入（千円）	18,550	20,829	21,712	5,545																	
<p>なお残る課題・ 問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成29年度のリニューアルを活かした利用料金収入、利用者数及び利用率の更なる改善。</li> <li>◆閑散期の利用者増加を図るため、新たな利用者の確保。</li> </ul>																				

<p>府民サービス等 改革検討委員会 による改善意見 等</p>	<p>□Wi-Fi完備、ボルダリング、トレーニングルーム、野外炊事場及び冷暖房完備の体育館等の設備を活用した施設の魅力向上は図られており、今後、京都市内の小学校等の学習・研修の誘致や閑散期での企業研修の誘致等に注力するなど施設の認知度の向上により更なる利用を促進されたい。</p> <p>□青少年向けの宿泊機能が中心とした施設ではあるが、トレーニングルームや体育館等、地域住民の利用者の門戸を更に広げる方策に期待したい。</p> <p>□京都にも美しい海があることを知らない京都のこどもたちが多いことは非常に残念であり、特に京都市内の小中高生等に本施設を積極的に体験してもらいたい。</p> <p>□令和3年度の府内利用者の比率が49%にとどまることから、京都市内の小中高を誘致する等、府内利用者を増やすため、積極的に取り組まれたい。</p>
<p>京都府の検証結果 及び対応方向</p>	<p><b>継続</b></p> <p>&lt;改善方策&gt;</p> <p>◎改修した施設の独自性を活かした利用者満足度の向上を企図した事業の展開及び府内利用者の拡大に主眼を置いた取組の強化により、効果的な利活用を図ること。</p> <hr/> <p>&lt;今後の対応&gt;</p> <p>○宮津市や周辺企業と連携した地域活性化に貢献するイベントを定期的に実施し、地域の交流拠点として更なる効果的な利活用を図る。</p> <p>○京都市内や府南部の小中学生を中心に、府民の施設利用の働きかけを強化し、府内からの利用を増進する。</p> <p>○閑散期の利用者数増加に向け、引き続き、大学生協京都事業連合等との連携や企業研修の誘致に注力する。</p> <p>○広報活動を強化し、施設の認知度向上と魅力PRを図る。</p>